第３号　本小の教育「授業研修会」　4年特設

○授業スタンダード期　「授業の型づくり期」



本日の公開授業は、特別支援教育コーディネータの「河津さゆり」先生です。さゆり先生は４年１組（知念三幸先生）にて、『特別支援教育・脳の引き出し』の特設授業を行いました。他にも、４年２組（髙嶺峻先生）でも実施しました。今後は、５年生、６年生とも調整して実施する予定です。さゆり先生の声かけ（発問）、受け答え（反応）など、**「一挙手一投足」「些細な表情」までもが集中して、「見入ってしまう」**そんな授業でした。難しい事を易しく、易しい事を楽しく、しかも楽しい事を深くする、そんな授業でした。有難うございました。

■ 4年1組（特設）「河津 さゆり（知念 三幸）」先生 2校時目

【児童の手（学習規律）】





■■「本日の学習の大まかな流れ」■■

［始め］全員で揃えて、始めの挨拶
［導入］約束ごと。口は閉じて挙手する
［展開］３＋２を提示。答えは、全員OK!
- 心理学、だまし絵「シマウマ」
- 学習に関する「脳の引き出し」
- 感情に関する「脳の引き出し」
- 引き出しのあき具合３，２，１，０
- 嬉しい言葉「フワフワ言葉」
- 大きなハート → 「セロトニン」が

［終末］本日の振り返りを行う
（ふ）２～３人に発表。（振り返り）
（あ）終わりの　挨拶。（けじめ良）

【安心・所属・承認】の気持ちを持たせる 「教師の発言・態度」 など

- 「引き出しの開き具合、３でも、２でも、１でも、０でも、いいんだよ。」
- 「みんな違ってても、いいんだよ。」
- 「答えてくれて、ありがとうね。」
- 「しー、声に出さないで、手を上げるんだよ。」（自ら挙手の手本を見せる）
- 「凄いねぇー、凄ーい。」（溢れる笑顔）

【教室の色（支持的風土）】

「一挙手一投足」反応全て「女優・さゆり」に魅せられて



















【教師の眼（教師の姿勢）】

【感想】　**「脳の引き出し」**、特別支援に関する大切な「特設授業」でした。 本当に有難うございました。♥

○ 本日は、「女優・さゆり」の一人舞台に、子供達も、我々参観者も、引きずり込まれた気持ちで一杯。
○ 脳と心の問題を、具体物（K付き収納棚の引き出し）の開き具合で示して、分かり易く、理解させた。
○ 脳の引き出しの授業は、これまでにも数回観ているが、授業者（演者）で、こうも違うものなのか！
○ 自己肯定感のみでなく、共感的他者理解、自己・他者共に存在価値などにも広く繋がっていくものだ。
○ 特別支援教育に、インクルシーブ教育に必要不可欠であり、本校の子供達には欠かせない授業である。
○ 今回の授業、「子供の学習規律」「学級の支持的風土」も良かったが、「教師力」が輝いた授業であった。



校長より